

2022年12月8日

各位

株式会社JCU

代表取締役社長兼CEO 木村 昌志

JCU、新潟県の生産本部で太陽光パネルの大幅増設を完了 CO₂排出量の20%削減目標を2023年度に達成、30年度には実質ゼロへ

株式会社JCU（代表取締役社長兼CEO：木村昌志）は、温室効果ガスである二酸化炭素（CO₂）排出量を抑制します。国内の主要工場である生産本部（新潟県上越市）に約6,000万円を投じて太陽光パネルによる発電設備の大幅増設を完了、2023年3月までに本格使用し、生産本部2021年度の最大使用電力量の約60%を賄います。JCUは2013年度を基準に、2023年度までに国内でのCO₂排出量を20%削減する目標を掲げており、今回の増設により2023年度までのCO₂削減目標を達成する予定です。また、JCUでは2030年度までに、生産本部の排出量に相当するCO₂排出量を実質ゼロにする目標を掲げています。作業効率の向上、省エネ設備への変換に努める一方、他の再生可能エネルギーの利用などを検討しています。2025年に竣工する予定の熊本事業所（仮称）についても再生可能エネルギーを含め、CO₂排出量を最大限削減できる設備の検討を進めています。

JCUは生産本部以外でも総合研究所（神奈川県川崎市）、中国の湖北工場（湖北省仙桃市）で太陽光パネルによる再生可能エネルギーの使用を実施しています。地球温暖化に伴う気候変動と災害の激化を防ごうと世界各国で取り組みが進められています。日本では温室効果ガス排出量を2013年に比べ2030年に46%削減、2050年には完全なカーボンニュートラル（炭素中立）を実現する政府目標を定めています。JCUグループは社会の一員として地球環境問題を重く捉え、環境に配慮した企業活動を強化してまいります。



生産本部（新潟県上越市）に増設した太陽光パネル

本プロセスに関わる SDGs



【本件の問い合わせ先】

株式会社 JCU

経営戦略室 経営企画部 佐藤琢朗

TEL : 03-6895-7004

E-mail : kikaku@jcu-i.com

以 上